

12月3日(火)

本日は、約1か月にわたる研修、経験の総まとめとして、Knowledge report をもとにしたプレゼンテーションの発表を研修員が1人ずつ行いました。

発表では、広島での見学とワークショップで学んだ分析方法に関して述べている研修員の方が多く、広島の研修地に関しては、とくに附属幼稚園や平和公園などでの日本独自の教育への関心が高かったです。また、実際に学んだ分析方法(Problem tree)を自国の状況に当てはめて作成し発表した研修員もいました。質疑応答では厳しい意見も飛び交い、白熱したものになりました。総じて、日本の教育について学んだことは非常にいい経験になったものの、自国に帰ってどのように今回の知識、経験を生かすのかという議論が中心でした。それに対して、今回学んだ Problem tree 作成等の方法を職場でシェアしプロジェクト分析に実際に使っていくことや、現在すでに策定されている国の政策プランに日本での教育の利点を盛り込むことがあげられました。

リフレクションの時間では、主に下記の3つのポイントについて議論しました。

- 1.他の人の発表を聞いて、どのような Knowledge report が良いと思ったか？
- 2.引き続き議論したいトピックは何か？
- 3.教育システムを「借りる」ことは本当に効果のあることなのか？そうならばどの点で？

帰国後、今回日本で学んだことを活用するには、どうすべきか。自国が日本とは違う文化・社会構造である点、また各自のポジションにおいて「学び」をどう活用していくか等、困難な点も議論されました。

最後は、吉田先生からの「研修員は自国に帰って学んだ知識を周知する必要があるため情報を的確にとらえることが重要である」というアドバイスで締めくくられました。

